

※各事業について点検し、結果欄は、ドロップダウンリストから当てはまるものを選択してください(指定を受けていない事業は選択不要。)

主眼事項	着眼点	結果	
運営に関する基準 (指定短期入所) 1 内容及び手続きの 説明及び同意	(1) 指定短期入所事業者は、支給決定障害者が指定短期入所の利用の申込みを行ったときは、当該利用申込者に係る障害の特性に応じた適切な配慮をしつつ、当該利用申込者に対し、運営規程の概要、従業者の勤務体制、その他の利用申込者のサービスの選択に資すると認められる重要事項を記した文書を交付して説明を行い、当該指定共同生活援助の提供の開始について当該利用申込者の同意を得ているか。	適	
	(2) 指定短期入所事業者は、社会福祉法第77条の規定に基づき書面の交付を行う場合は、利用者の障害の特性に応じた適切な配慮をしているか。	適	
2 受給資格の確認	指定短期入所事業者は、指定短期入所の提供を求められた場合は、その者の提示する受給者証によって、支給決定の有無、支給決定の有効期間、支給量等を確かめているか。	適	
3 心身の状況等の把握	指定短期入所事業者は、指定短期入所の提供に当たっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境、他の保健医療サービス又は福祉サービスの利用状況等の把握に努めているか。	適	
4 指定障害福祉サービス事業者等との連携等	(1) 指定短期入所事業者は、指定短期入所を提供するに当たっては、地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市町、他の指定障害福祉サービス事業者等その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めているか。	適	
	(2) 指定短期入所事業者は、指定短期入所の提供の終了に際しては、利用者又はその家族に対して適切な援助を行うとともに、保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めているか。	適	
5 サービスの提供の記録	(1) 指定短期入所事業者は、指定短期入所を提供した際は、当該指定短期入所の提供日、内容その他必要な事項を記録しているか。	適	
	(2) 指定短期入所事業者は、(1)の規定による記録に際しては、支給決定障害者から指定共同生活援助を提供したことについて確認を受けているか。	適	
6 利用者負担額等の受領	(1) 指定短期入所事業者は、指定短期入所を提供した際は、支給決定障害者から当該指定短期入所に係る利用者負担額の支払を受けているか。	該当なし	
	(2) 指定短期入所事業者は、法定代理受領を行わない指定短期入所を提供した際は、支給決定障害者から当該指定短期入所に係る指定障害福祉サービス等費用基準額の支払を受けているか。	該当なし	
	(3) 指定短期入所事業者は、(1)及び(2)の支払を受ける額のほか、指定短期入所において提供される便宜に要する費用のうち、支給決定障害者から受けることのできる次に掲げる費用の支払を受けているか。	/	
	① 食事の提供に関する費用（食材料費及び調理等に係る費用に相当する額）		適
	② 光熱水費		適
	③ 日用品費	適	
	⑤ ①から③のほか、指定短期入所において提供される便宜に要する費用のうち、日常生活においても通常必要となるものに係る費用であって、支給決定障害者に負担させることが適当と認められるもの	適	
	(4) (3)の①及び②に掲げる費用については、平成18年厚生労働省告示第545号「食事の提供に要する費用、光熱水費及び居室の提供に要する費用に係る利用料等に関する指針」に定めるところによるものとなっているか。	適	
(5) 指定短期入所事業者は、(1)から(3)までの費用の額の支払を受けた場合は、当該費用に係る領収証を当該費用の額を支払った支給決定障害者に対し交付しているか。	適		
(6) 指定短期入所事業者は、(3)の費用に係るサービスの提供に当たっては、あらかじめ、支給決定障害者に対し、当該サービスの内容及び費用について説明を行い、支給決定障害者の同意を得ているか。	適		

主眼事項	着眼点	結果
7 介護給付費の額に係る通知等	(1) 指定短期入所事業者は、法定代理受領により市町から指定共同生活援助に係る介護給付費の支給を受けた場合は、支給決定障害者に対し、当該支給決定障害者に係る訓練等給付費の額を通知しているか。	該当なし
	(2) 指定短期入所事業者は、法定代理受領を行わない指定短期入所に係る費用の支払を受けた場合は、その提供した指定短期入所の内容、費用の額その他必要と認められる事項を記載したサービス提供証明書を支給決定障害者に対して交付しているか。	該当なし
8 緊急時等の対応	従業者は、現に指定短期入所の提供を行っているときに利用者に病状の急変が生じた場合その他必要な場合は、速やかに医療機関への連絡を行う等の必要な措置を講じているか。	適
9 運営規程	指定短期入所事業者は、指定短期入所事業所ごとに、次に掲げる事業の運営についての重要事項に関する運営規程を定めてあるか。	適
	①事業の目的及び運営の方針	
	②従業者の職種、員数及び職務の内容	
	③利用定員	
	④指定短期入所の内容並びに支給決定障害者から受領する費用の種類及びその額	
	⑤サービス利用に当たっての留意事項	
	⑥緊急時等における対応方法	
	⑦非常災害対策	
	⑧事業の主たる対象とする障害の種類を定めた場合には当該障害の種類	
	⑨虐待の防止のための措置に関する事項	
	⑩虐待防止委員会の設置に関する事項	
⑪その他運営に関する重要事項		
10 業務継続計画の策定	(1) 指定共同生活援助事業者は、感染症や非常災害の発生時において、利用者に対する指定共同生活援助の提供を継続的に実施するための、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画(以下「業務継続計画」)を策定し、当該業務継続計画に従い必要な措置を講じているか。(令和6年3月31日までの経過措置あり)	否
	(2) 指定共同生活援助事業者は、従業者に対し、業務継続計画について周知するとともに、必要な研修及び訓練を定期的実施しているか。(令和6年3月31日までの経過措置あり)	否
	(3) 指定共同生活援助事業者は、定期的に業務継続計画の見直しを行い、必要に応じて業務継続計画の変更を行っているか。(令和6年3月31日までの経過措置あり)	否
11 定員の遵守	指定短期入所事業者は、利用定員及び居室の定員を超えて入居させていないか。(ただし、災害、虐待その他のやむを得ない事情がある場合は、この限りでない。)	適
12 身体拘束等の禁止	(1) 指定短期入所事業者は、指定短期入所の提供に当たっては、利用者又は他の利用者の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束その他利用者の行動を制限する行為(身体拘束等)を行っていないか。	適
	(2) 指定短期入所事業者は、やむを得ず身体拘束等を行う場合には、その態様及び時間、その際の利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由その他必要な事項を記録しているか。	適
	(3) 指定短期入所事業者は、身体拘束の適正化を図るため、次に掲げる措置を講じているか。	適
	①身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会(テレビ電話装置等の活用可。)を定期的開催するとともに、その結果について、従業者に周知徹底を図っているか。	適
	②身体拘束等の適正化のための指針を整備しているか。	適
	③従業者に対し、身体拘束等の適正化のための研修を定期的実施しているか。	否
13 秘密保持等	(1) 指定短期入所事業所の従業者及び管理者は、正当な理由がなく、その業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を漏らしていないか。	適
	(2) 指定短期入所事業者は、従業者及び管理者であった者が、正当な理由がなく、その業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を漏らすことがないよう、必要な措置を講じているか。	適
	(3) 指定短期入所事業者は、他の指定短期入所事業者等に対して、利用者又はその家族に関する情報を提供する際は、あらかじめ文書により当該利用者又はその家族の同意を得ているか。	適
14 情報の提供等	(1) 指定短期入所事業者は、指定短期入所を利用しようとする者が、適切かつ円滑に利用することができるように、当該指定短期入所事業者が実施する事業の内容に関する情報の提供を行うよう努めているか。	適
	(2) 指定短期入所事業者は、当該指定短期入所事業者について広告する場合においては、その内容が虚偽又は誇大なものとなっていないか。	適
15 苦情解決	(1) 指定短期入所事業者は、その提供した指定短期入所に関する利用者又はその家族からの苦情に迅速かつ適切に対応するために、苦情を受け付けるための窓口を設置する等の必要な措置を講じているか。	適
	(2) 指定短期入所事業者は、(1)の苦情を受け付けた場合には、当該苦情の内容等を記録しているか。	適

主眼事項	着眼点	結果
	(3) 指定短期入所事業者は、その提供した短期入所に関し、法第10条第1項の規定により市町が行う報告若しくは文書その他の物件の提出若しくは提示の命令又は当該職員からの質問若しくは指定短期入所事業所の設備若しくは帳簿書類その他の物件の検査に応じ、及び利用者又はその家族からの苦情に関して市町が行う調査に協力するとともに、市町から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行っているか。	適
	(4) 指定短期入所事業者は、その提供した指定短期入所に関し、法第11条第2項の規定により知事が行う報告若しくは指定短期入所の提供の記録、帳簿書類その他の物件の提出若しくは提示の命令又は当該職員からの質問に応じ、及び利用者又はその家族からの苦情に関して知事が行う調査に協力するとともに、知事から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行っているか。	適
	(5) 指定短期入所事業者は、その提供した短期入所に関し、法第48条第1項の規定により知事又は市町長が行う報告若しくは帳簿書類その他の物件の提出若しくは提示の命令又は当該職員からの質問若しくは指定短期入所事業所の設備若しくは帳簿書類その他の物件の検査に応じ、及び利用者又はその家族からの苦情に関して知事又は市町長が行う調査に協力するとともに、知事又は市町長から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行っているか。	適
	(6) 指定短期入所事業者は、知事、市町又は市町長から求めがあった場合には、(3)から(5)までの改善の内容を知事、市町又は市町長に報告しているか。	適
	(7) 指定短期入所事業者は、社会福祉法第83条に規定する運営適正化委員会が同法第85条の規定により行う調査又はあっせんのできる限り協力しているか。	適
16 事故発生時の対応	(1) 指定短期入所事業者は、利用者に対する指定短期入所の提供により事故が発生した場合は、県、市町、当該利用者の家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じているか。	適
	(2) 指定短期入所事業者は、事故の状況及び事故に際して採った処置について、記録しているか。	適
	(3) 指定短期入所事業者は、利用者に対する指定短期入所の提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を速やかに行っているか。	適
17 虐待の防止	指定短期入所事業所は、虐待の発生又はその再発を防止するため、次に掲げる措置を講じているか。	適
	①当該指定短期入所事業所における虐待防止のための対策を検討する委員会(テレビ電話装置等の活用可。)を定期的に開催するとともに、その結果について、従業員に周知徹底を図っているか。	適
	②当該指定短期入所事業所において、従業員に対し、虐待の防止のための研修を定期的実施しているか。	適
	③上記①及び②に掲げる措置を適切に実施するための担当者を置いているか。	適
18 会計の区分	指定短期入所事業者は、指定短期入所事業所ごとに経理を区分するとともに、指定短期入所の事業の会計をその他の事業の会計と区分しているか。	適
19 記録の整備	(1) 指定短期入所事業者は、従業員、設備、備品及び会計に関する諸記録を整備してあるか。	適
	(2) 指定短期入所事業者は、利用者に対する指定短期入所の提供する諸記録を整備し、当該短期入所を提供した日から5年間保存しているか。	適
20 勤務体制の確保等	(1) 指定短期入所事業所は、利用者に対し、適切な指定短期入所を提供できるよう、指定短期入所事業所ごとに、従業員の勤務体制を定めているか。	適
	(2) 指定短期入所事業所は、指定短期入所事業所ごとに、当該指定短期入所事業所の従業員によって指定短期入所を提供しているか。(ただし、利用者の支援に直接影響を及ぼさない業務については、この限りではない。)	適
	(3) 指定短期入所事業所は、従業員の資質向上のために、その研修の機会を確保しているか。	否
	(4) 指定短期入所事業所は、適切な指定短期入所の提供を確保する観点から、職場において行われる性的な言動又は優越的な関係を背景とした言動であって業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより従業員の就業環境が害されることを防止するための方針の明確化等の必要な措置を講じているか。	適
21 非常災害対策	(1) 指定短期入所事業者は、消火設備その他の非常災害に際して必要な設備を設けるとともに、非常災害に関する具体的計画を立て、非常災害時の関係機関への通報・連携体制、避難・誘導体制を整備し、それらを定期的に従業員に周知しているか。	適
	(2) 指定短期入所事業者は、非常災害に備えるため、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	適

